

SUCCESS STORY

【(株)静岡オフィスオートメーション】

工程作業実績管理システム
タブレットのプログラム20本を2週間で開発

SOA
shizuoka



The Project

Customer:

株式会社
静岡オフィスオートメーション
静岡県、www.shizuoka-oa.com/

Industry:

業務系システム開発

Magic Solution: Magic xpa

Applications:

タブレットを活用した工程作業実績管理システム



Objectives

- Magic xpaクライアント/サーバ型のスクラッチ開発で、見積書と図面を連動する売上請求管理システムを導入
- 図面毎の進捗管理や適切な原価管理と作業効率化を図るため、RIA (Rich Internet Application) を使った工程作業実績管理システムを開発



Results

- モバイル部分は、20本のプログラムを1名の開発技術者が2週間で完成
- 作業員全員がタブレットを利用し、ワンタッチで作業実績が登録できるシステムが完成
- 一つの製品を作るまでの流れ{資材発注～正確な作業時間～外注加工賃}が明確化
- 作業効率が大幅にアップしたとエンドユーザーから評価

株式会社静岡オフィスオートメーションは、1980年より静岡県を中心に業務系のシステム開発を手掛け、導入実績は300社を超えている。そのクライアントである見原精工（産業用自動装置機械製造等）に、見積書と図面を連動する売上請求管理システムを2015年12月に導入した。

次のステップとして、図面毎の進捗管理や適切な原価管理と作業効率化を図るため、タブレットを活用した工程作業実績管理システムを提案し、その提案が認められ開発に至った。

2016年2月よりアジャイル開発手法を採用し、工程作業実績管理システムの開発を開始。モバイルの部分は、20本のプログラムを1名の開発技術者が2週間で完成。作業員全員にタブレットを配布し、作業の実績登録が行えるようにした。

図面ごとの進捗管理のほか、資材仕入額、工程作業時間、外注加工賃が明確になり、第3フェーズ開発予定の「原価管理システム」の下準備ができた。更に、納期問い合わせにも工程毎の進捗状況が閲覧できるため、迅速な対応

が可能となった。これらの効果により、会社全体の作業の効率化が図られた。



打ち合わせには、ラフスケッチを描いてその場で確認を取り、次回の打ち合わせにはMagicで画面フォームを作り確認しました。その繰り返しを行いながら開発を進め、ワンタッチで作業実績が登録できるシステムが完成したのです。

専務取締役 峰田 邦彦様



Magic xpaクライアント/サーバ型の開発経験しかありませんでしたが、今回経験して分かったことは、クライアント/サーバ型の開発経験があれば、モバイルRIAのプログラムやタブレットで動くシステムが何の問題も無く作れるということです。

システム統括部長 上野 康二様



OUTPERFORM THE FUTURE™

SUCCESS STORY



The Business Processes

「今回導入したエンドユーザーの見原精工様は、もともと市販の販売管理のパッケージを導入していたにも関わらず、生産管理の業務にはマッチしていなかったためか、請求書の発行にしか使用していませんでした。そこで弊社では、Magic xpaクライアント/サーバ型のスクラッチ開発で、見積書と図面を連動させ、更に売上請求管理を行うシステムを開発し2015年12月に導入させていただきました。

このシステムでは、マスタ登録を極力無くして流動的に使えるように開発しました。また、システムの導入も問題なく進んだため、第2弾として、2016年の1月に作業効率化を図るモバイルRIA (Rich Internet Application) を使った工程作業実績管理システムを提案し、その提案が認められ開発に至りました。

システムの概要は、受注した内容を事務員が作業指示入力処理で入力を行います。その内容がタブレット側に工程別の作業指示として表示されます。担当者は、作業の開始と終了ボタンをタッチするだけで実績登録が完了。そして、最終工程の検品合格で在庫に計上され、売上に連動されるシステムです。(専務取締役 峰田氏)

今回のモバイルRIAのシステム開発手法には、アジャイル開発を採用

「タブレットでの作業実績の登録は、いかに簡単に素早く登録できるか、ユーザーインターフェースが最大の鍵になります。それは、エンドユーザーが使いづらいと感じた瞬間に登録作業が重荷になってしまうからです。

Results

「モバイルRIAを使用している工程作業実績管理システムの導入後の最大の効果は、モノの流れが明確になり、その製品がいつ完成するのか、直ぐに分かるようになったことでしょうか。

更に、一つの製品を作るまでの流れ{資材発注～正確な作業時間～外注加工賃}が明確化したことでしょうか。これらの進捗管理がリアルタイムに把握できることで、作業効率は大幅にアップしたとエンドユーザーから評価を頂いています。」(システム統括部長 上野氏)

「今後の展望としては、視覚的に作業計画の進捗状況を確認しやすくするためのガントチャート対応です。次期バージョンでの対応を予定しております。次に、工程作業実績管理システムのパッケージ化です。製造業の作業実績管理は、各社の業務フローが共通化されている部分が多いので、パッケージ販売で販路の拡大を図っていきたく思います。」(専務取締役 峰田氏)

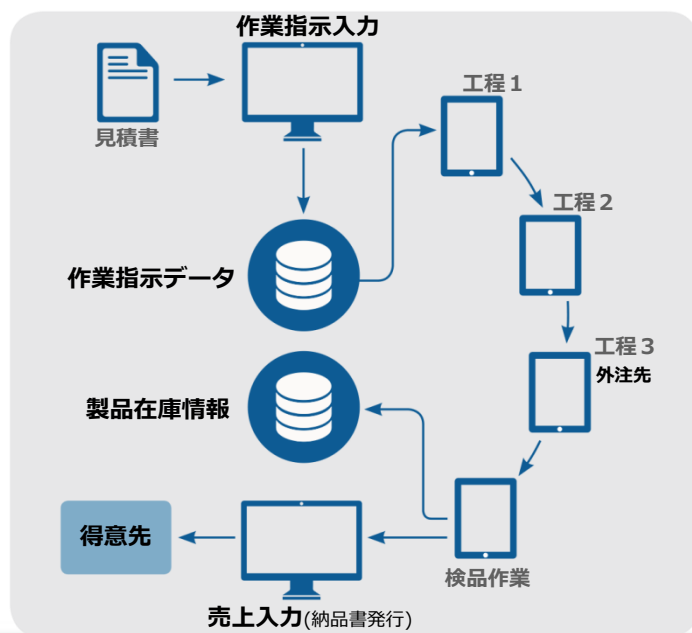
そこで、打ち合わせには、ラフスケッチを描いてその場で確認を取り、次回の打ち合わせにはMagicで画面フォームを作り確認しました。その繰り返しを行いながら開発を進め、ワンタッチで作業実績が登録できるシステムが完成したのです。」

静岡オフィスオートメーション様にとって、今回のシステムが初めてのモバイルRIAの開発であったにも関わらず、工程作業実績管理システムのタブレット部分を2週間で開発されました。

「今回のシステムは全体のプログラム数が300本、その内のモバイルRIA部分は、20本ほどでした。

弊社では、Magic xpaクライアント/サーバ型の開発経験しかありませんでしたが、今回経験して分かったことは、クライアント/サーバ型の開発経験があれば、モバイルRIAのプログラムやタブレットで動くシステムが何の問題も無く作れるということです。更に、モバイルRIAの開発を行うために、アルゴリズムの見直しを行い、プログラム開発の標準化も整理されました。

ただ、IIS等のサーバの環境設定にはちょっと苦労しました。この辺の環境設定が分かりやすくマニュアル化されていれば、もっとモバイルRIAへのハードルが下がると感じました。」(システム統括部長 上野氏)



▲ 業務フロー図

www.magicsoftware.com/ja



マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー24階 TEL:03-5937-3300
営業所: 札幌 仙台 信越 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡